

# 議会だより

にしあいづ No.115

2011.10.24

発行：福島県西会津町議会

編集：議会広報特別委員会



- 9月議会定例会の内容は . . . . . 2
  - 平成22年度決算を認定!! . . . . . 2
  - 決算について問う . . . . . 3
  - 町特別功労者の決定に同意 . . . . . 4
  - 常任委員会事務調査報告 . . . . . 5
- ここが聞きたい! 一般質問10人が登壇 . . . . . 6
- 第7回議会臨時会報告 . . . . . 11
- 奥川地域づくり会議の片岡元次さんにインタビュー . 12

勝利を引き寄せて (尾野本保育所運動会)

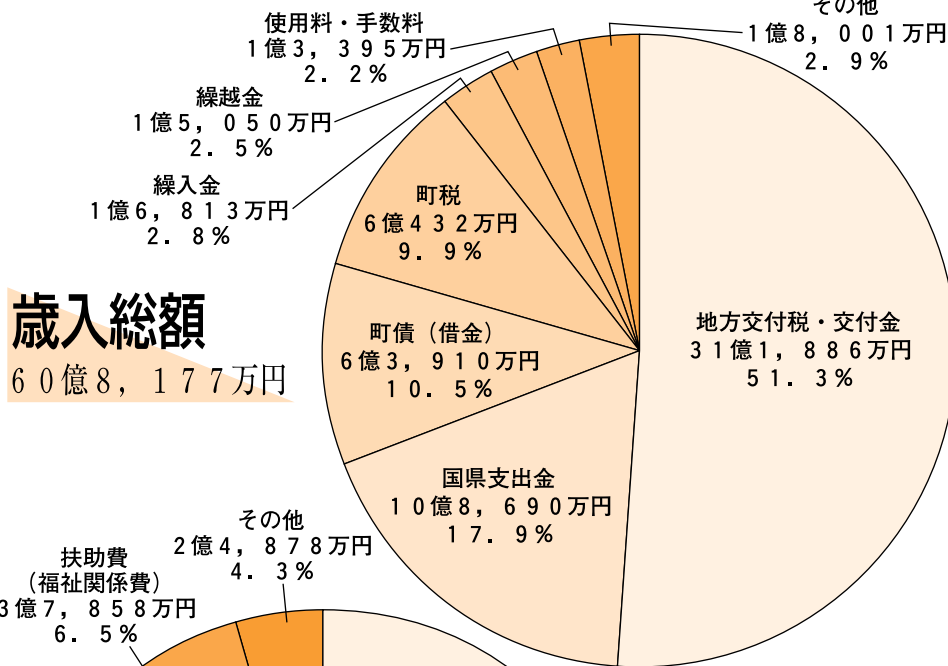
# 一般会計決算の内訳

# 9月定例会

平成22年度決算

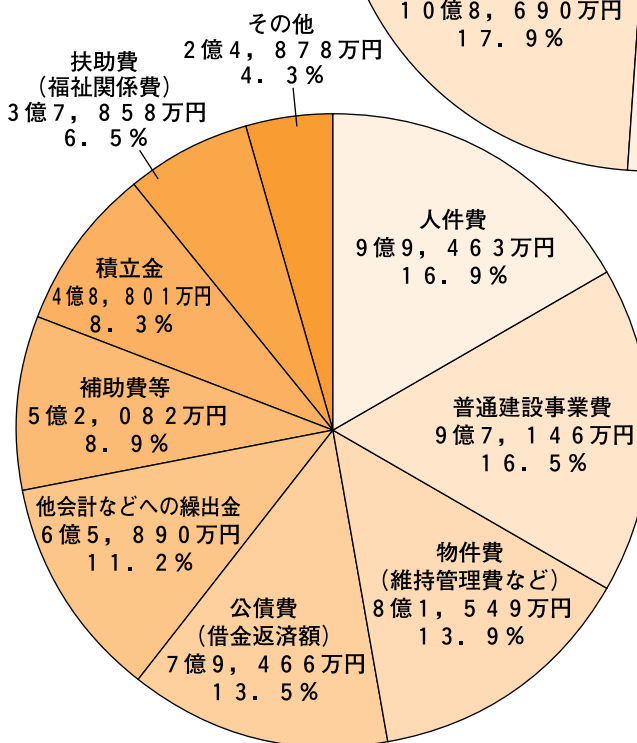
一般会計と特別会計の歳出計88億3609万円

水道事業会計歳出合計1億4807万円を認定!!



## 歳入総額

60億8,177万円



## 歳出総額

58億7,133万円

### 平成22年度決算における数値あれこれ

- Q：町の借金は？  
 A：113億9,892万円（前年度116億939万円）  
 ※上記金額のうち、交付税で措置される分を除いた実質負担額は51億1,811万円です。
- Q：町の貯金額（財政調整基金）は？  
 A：8億5,077万円（前年度5億1,723万円）
- Q：未収金の合計額は？  
 A：1億1,765万円（前年度1億2,191万円）
- Q：実質公債費比率（年度ごとの借金返済額が財政規模の何%かを示す値）は？  
 A：16.2%（前年度17.1%）  
 ※25%以上だと要注意です。
- Q：将来負担率（実質的な借金等の負担が財政規模の何%かを示す値）は？  
 A：127.1%（前年度158%）  
 ※350%以上だと要注意です。

平成23年9月議会定例会を9月9日から16日まで、8日間の会期で開きました。提出された議案は、平成22年度決算、一般会計等補正予算、町特別功労表彰者の決定への同意など24件で、すべて原案のとおり可決しました。

一般質問では、10人の議員が登壇し、町の考えや対応を問いました。

また、本定例会において議会基本条例制定特別委員会を設置しました（詳細12ページ）。

# 決算額一覧表

会 計 名	決 算 額		収入未済額 (税金・使用料などの滞納額)	決算の認定 採決の結果		
	歳入(収入)	歳出(支出)				
一 般 会 計	60億8,177万円	58億7,133万円	5,284万円	全員賛成		
特 別 会 計	工業団地造成事業	2万円	0万円	0万円	〃	
	商業団地造成事業	1,687万円	0万円	0万円	〃	
	住宅団地造成事業	740万円	621万円	0万円	〃	
	下水道施設事業	2億1,757万円	2億1,611万円	77万円	〃	
	農業集落排水処理事業	9,984万円	9,757万円	246万円	〃	
	個別排水処理事業	5,576万円	5,484万円	45万円	〃	
	老人保健	15万円	5万円	0万円	〃	
	後期高齢者医療	1億33万円	9,962万円	3万円	〃	
	国民健康保険	事業勘定	10億6,195万円	10億1,328万円	5,124万円	〃
		診療施設勘定	4億8,211万円	4億7,390万円	0万円	〃
介護保険	9億3,200万円	9億719万円	96万円	〃		
簡易水道等事業	9,856万円	9,599万円	245万円	〃		
合 計	91億5,433万円	88億3,609万円	1億1,120万円			
本町財産区特別会計	44万円	9万円	0万円	全員賛成		

企 業 会 計 名	決 算 額		水道料の滞納額	決算の認定 採決の結果
	総収益	総費用		
水道事業(収益的収支)	1億4,807万円	1億4,035万円	645万円	全員賛成

# 決算について問う

青木照夫議員

ケーブルテレビ高度化事業の工事が完成すれば、町民や町の活用について、どのようなサービスが期待されるのか。

企画情報課長

光ファイバーがつながれば、今よりきれいな画像でテレビを見ることが出来る。また、速い速度でのインターネットの利用ができる。

その後の利活用については、まだ具体的な活用計画はないが、双方向での音声告知など広い分野での活用を検討する。

長谷沼清吉議員

① 学校関係の公有財産で、木造建物275㎡が処分されているが、その内容は。

② 財産収入が912万6千円となっているが、その財源については、157万7千円が一般財源となっている。通常であれば財産収入は全て一般財源であると思うが、その

内容について伺う。

③ 起債について、利率の高い起債はいつまでで償還が終わるのか。

④ 生活援助貸付基金は、役割が終わったと思うが、今後どのようにするのか。

⑤ 税の徴収にかかる差押えのケースについて説明を求めます。

総務課長

① 群岡小学校旧徳沢分校分の財産について、教育財産から行政財産に移管したものである。

② 特定財源となる財産収入は、主なものとして、パイプハウスの貸付料は、公債費に充当しており、基金利子は、歳出の積立

基金で同額支出をする。また、財産売却収入の中で、徳沢駅前の用地の分譲代金については、土地開発基金に積み戻している。

③ 利率の高い起債は、5%以上7%以下というもので、1,016万1千円の残額があり、平成23年度には全て償還が終わる。

健康福祉課長

④ 借り受けた本人や保証人が亡くなった場合にケースもあるが、債務については相続により継承する。債権放棄という形で議会の議決をいただくなどして、基金の廃止も含め、今後の対応を検討する。

町民税務課長

⑤ 昨年度は所得税の還付金や預金、給与など51件の差押えを実施した。相談を実施した後、差押えを実施しているが、基本的に生活に必要な額を除いた金額に対し差押えを実施している。

長谷川徳喜議員

監査委員の意見の中で改善を要すると指摘されていることについて、町当局はどのように受け止めているのか。

町長

来年度予算編成の指針にしたい。また、各課において努力すべきものは努力をしていきたい。

## 監査委員の意見

### 決算審査



新井田大代表監査委員

決算書類等の書類は、法令で定められたとおり作成されていた。算出された数値も誤りはなかった。

また、各基金の運用及び管理についても関係諸票などと符合しており、誤りはなかった。

予算の執行については、おおむね適正な執行である。

平成21年度から税等徴収対策本部会議を庁内に設置し、税や使用料等の徴収に努めているが、収入未済額が3年連続で1億円を超えた。このことは、財政運営に影響があると思われるので、引き続き努力と工夫が必要であり、さらなる自主財源の確保に努められたい。

# 町特別功労者の決定に同意

9月議会定例会に前議会議員の清野邦夫さん(大久保)、同じく清野興一さん(大久保)、同じく大沼洋平さん(本町)、元町消防団訓練本部長の佐藤和子さん(上小島)、元町消防団第1分団長の金子和男さん(横町)の5人を町特別功労表彰者とするこの議案が提出されました。

町議会ではこの案に議員全員が賛成し同意しました。



**清野邦夫さん(大久保)**  
9期36年間、町議会議員、うち1期4年間、町議会議長として地方自治の進展と町政の向上発展に貢献されました。



**大沼洋平さん(本町)**  
4期16年間、町議会議員、うち1期4年間、町議会議長として地方自治の進展と町政の向上発展に貢献されました。



**清野興一さん(大久保)**  
9期36年間、町議会議員、その間総務常任委員会委員長などを歴任され、地方自治の進展と町政の向上発展に貢献されました。



**金子和男さん(横町)**  
37年余の長きにわたり町消防団員として活躍され、その間2期4年間、第1分団長を務められ、組織の強化に尽力されました。



**佐藤和子さん(上小島)**  
37年余の長きにわたり町消防団員として活躍され、その間、第2分団長・訓練本部長を務められ、組織の強化に尽力されました。

## 補正予算

### 一般 会 計

第8次の補正予算には、生活バス運行事業にかかる車両購入費、原子力発電所事故にかかる放射線量計購入費、町内商工業者への支援事業費、消防団員の公務災害補償等負担金、新潟・福島豪雨にかかる災害復旧費など、総額4億4,092万円が計上され、審議の結果、原案のとおり可決しました。

なお、本案の採決の結果は、賛成9人、反対3人でした。

また、東日本大震災及び福島第一原発事故の発生に伴い延期されていた福島県議会議員一般選挙が、11月10日告示、投票日を11月20日と決定されたことから、その選挙の執行にかかる経費210万円が第9次補正予算として追加計上され、審議の結果、議員全員が賛成し、原案のとおり可決しました。

### 特 別 会 計

■国民健康保険特別会計  
事業勘定では、後期高齢者医療制度への支援金や40歳以上65歳未満の介護保険第2号被保険者分の納付金、30万円以上80万円未満の高額医療費に對しての小規模保険者の運営基盤の安定化を図るための国保連合会への拠出金、平成22年度の療養給付費精算による返還金など、総額920万9千円が計上されました。

施設勘定では、落雷により被害を受けた西会津診療所の電話設備やナースコールなどの修繕料、10月から開始する医薬分業にかかる経費、総額1,332万6千円が計上されました。

本案については審議の結果、議員全員が賛成し、原案のとおり可決しました。

■介護保険特別会計  
平成22年度繰越金の中から今年の介護給付費の増高に備えるため、介護給付費準備基金へ積立て、

今後の介護保険財政の安定運営と健全を図る積立金や平成22年度介護給付費確定に伴う国県等への返還金及び町一般会計への精算返還金としての繰出金など、総額2,602万1千円が計上され、審議の結果、議員全員が賛成し、原案のとおり可決しました。

### ■水道事業会計

東日本大震災により被害を受けた大久保浄水場の配水池の土留積ブロックの災害復旧工事費用、公共下水道工事及び県営中山間地域総合整備事業における支障水道管移設にかかる工事請負費、総額6,382万2千円が計上され、審議の結果、議員全員が賛成し、原案のとおり可決しました。

### 提出した意見書

■原子力損害賠償紛争解決センターにおける和解決手続の実施場所に関する意見書

提出先 内閣総理大臣・文部科学大臣

# 常任委員会事務調査報告

## 総務常任委員会

調査実施日：平成23年8月4日・5日・23日

### 保健・医療・福祉政策の実施状況「磐梯町医療福祉センター」[瑠璃の里]

磐梯町には、福島県では唯一の公益社団法人地域医療振興協会がある。平成12年4月より施設の運営管理の委託、その後指定管理者の指定を受けた磐梯町保健医療福祉センター「瑠璃の里」の管理運営を行い、医師の確保を含め、地域に根ざした保健医療福祉サービスの提供とその充実に努めている。

一方、本町における状況は、個人医院の廃業に伴って、町内唯一の医療機関である国保直営診療所への外来患者が増加、西会津診療所の医師は併設されている介護老人保健施設や特別養護老人ホーム入所者の診療

も持っているため、医師への負担が過重になっている。現在の診療体制では、往診対応や保健・福祉事業との連携強化も困難と思われる状況にあることから、医師の確保が最重要課題となっている。地域医療の中核的役割を担うべき西会津診療所



## 経済常任委員会

調査実施日：平成23年7月28日・8月5日・18日

### 集落営農の取組み

牛尾集落営農改善組合では、農業者の高齢化や後継者不足とこれに伴う遊休農用地の利用集積などの課題があった。認定農業者が3名おり、これら担い手を中心として集落の話し合いを重ね、この組織ができ、農用地利用規程の認定を受け、平成21年4月に農用地利用改善団体となった。さらにこの組織を発展させ、特定農業団体を組織化し、施設の整備を行い、受益面積の拡大や作業の効率化、経費の削減に取組み、米の乾燥調整施設設備一式を導入した。特に色彩選別機は、良質米の生産に威力を発揮し

ている。耐震構造のため、間口が狭いなどの問題点もあるが、作業する面で組合員の創意工夫で有効的に利用されており評価できる。



ワケマなどによる農作物の被害を防いでいる。この取組みは、ミネラル野菜を栽培する農家6人が共同で行っている。

施設は、建設面積85.21㎡、乾燥機50台、糊摺り機5インチ、選別計量機処理能力600〜2100kg/h、色彩選別機処理能力2000kg/hとなっている。

この電気柵設置後は、サル被害は少なくなり、クマについても電気柵の周りに足跡があったものの被害は出ていないようである。

### 有害鳥獣対策

共同で設置したため、経費も安く済むことや農家の方がそれぞれ都合に合わせて畑に行くので、監視の役目も果たしている。共同耕作面積は50アール、設置総延長500mである。

# 町政のここが聞きたい 議員は問う 10人が登壇

## こんな質問をしました（質問順）

- 長谷川義雄議員
  - ①町職員採用について
  - ②西会津町新交通体系計画について
- 伊藤一男議員
  - ①町工業団地への企業誘致について
  - ②高齢者介護施設の充実について
- 猪俣常三議員
  - ①環境問題について
  - ②林業問題について
  - ③家庭菜園について
- 鈴木満子議員
  - ①町長としての政治姿勢を問う
  - ②西会津高校を本校として存続させるために町はどんな働きかけをしてきたのか
- 多賀剛議員
  - ①福祉・医療行政について
  - ②防災対策について
  - ③西会津高校の生徒数定員割れの現状について
- 青木照夫議員
  - ①安心安全なまちづくりには「防災対策の充実」が必須条件ですー予算配分のバランスから集中への転換の必要性ーについて
  - ②NCTが提供するサービスについて
  - ③福祉施策について
- 荒海清隆議員
  - ①あいづダストセンターの下水道汚泥処理について
  - ②雇用拡大を図る施策を求める
- 清野佐一議員
  - ①町政への取組みについて
  - ②ケーブルテレビ高度化事業について
  - ③エネルギー問題について
- 五十嵐忠比古議員
  - ①新潟・福島豪雨の被害と今後の対応について
  - ②町道の整備について
- 長谷沼清吉議員
  - ①ケーブルテレビ高度化第2期工事について
  - ②22年度に実施した機構改革について

問 あいづダストセンター汚泥搬入への対応は

答 町独自でも線量調査等を実施

問 東日本大震災以降、5月1日までにあいづダストセンターには下水道汚泥が搬入された。その経緯と対応は。  
また、本町には現在10tの汚泥が保管されていると言うが、その対応は。  
町民税務課長  
あ い づ だ す と セ ン タ ー に 搬 入 さ れ た 汚 泥 に つ い て は 、 同 セ ン タ ー と 県 に お い て 、 空 間 線 量 及 び 土 壌 濃 度 を 測 定 し て い る 。 ま た 、 町 も 独 自 に 8 月 か ら 毎 月 、 青 坂 、 縄 沢 自 治 区 周 辺 の 空 間 線 量 及 び 河 川 水 、 飲 料 水 の 測 定 を 実 施 し て お り 、 空 間 線 量 に つ い て は 町 内 他 地 区 と 同 程 度 の 値 で あ っ た 。 ま た 、 河 川 水 、 飲 料 水 か ら 放 射 性 物 質 は 検 出 さ れ な か っ た 。  
な お 、 本 町 の 下 水 道 汚 泥 に つ い て は 、 須 賀 川 市 の 肥 料 会 社 へ 搬 出 し 処 理 を す る 。  
問 雇 用 の 拡 大 を 図 る 施 策 と し て 、 原 発 被 災 地 企 業 等 に 特 別 優 遇 措 置 を 取 り 、 誘 致 活 動 を し て は ど う か 。  
ま た 、 住 宅 団 地 に つ い て も 原 発 被 災 地 を 中 心 に 若 い 人 に 特 売 す る 考 え は な い か 。  
商 工 観 光 課 長  
企 業 誘 致 に つ い て は 、  
被 災 者 支 援 、 さ ら に は 本 町 に お け る 雇 用 の 拡 大 と い っ た 観 点 か ら 積 極 的 に 取 組 む 。  
住 宅 団 地 に つ い て は 、 本 町 に 移 住 さ れ る 被 災 者 の か た に 対 す る 助 成 金 や 優 遇 制 度 を 早 急 に 検 討 す る が 、 特 売 価 格 で の 販 売 は 既 購 入 者 と の 関 係 上 困 難 で あ る 。  
荒 海 清 隆 議 員



下水道施設に仮置きされていた汚泥

問 新潟・福島豪雨災害の復旧計画は

答 緊急度を勘案し、年度内復旧をめざす

五十嵐 忠比古 議員

問 福島、新潟両県は、記録的な豪雨に見舞われ、本町も豪雨と阿賀川の増水により被害を受けた。滝坂自治区では、道路が冠水し、沿道の水田には大量の泥が流入した。今回の豪雨災害の復旧計画に関する町の考えは。

町長 今回の災害に対して、直ちに緊急自治区長会議を開催し、復旧に対する町の基本方針を伝えた。町民生活に支障を生じさせないよう、緊急度を勘案し、年度内復旧をめざす。

問 奥川地区と野沢地区を15分で結ぶ町縦貫道路は、平成8年度より整備中である。平成24年4月には小学校が統合するが、バス通学路の全線開通の予定は。また、下野尻・端村線は、豪雨のたびに一部冠水、通行止めとなる。一部改良工事が始まっているが、完成予定は。

建設水道課長

縦貫道路については、県道部分の奥川・新郷線と町道部分の野沢・柴崎線で構成されている。町の重要な道路整備路線であり、平成29年度の全線開通をめざし努力する。下野尻・端村線については、平成24年度事業が完了すれば、豪雨の際に孤立することが無くなる。

問 防災対策の充実は

答 必要に応じ補正予算で対応したい

青木 照夫 議員

問 防災対策事業の占める重要性をどのように把握しているのか。本年度予算の配分の増加は。また予算編成に際して、住民参加が必要と思われるが。

町長

東日本大震災を契機に、防災対策の重要性については、改めて認識を強くした。本年度防災関連予算については、当初から

計画性を持って計上したが、現状に照らし追加予算の必要性が生じた場合は、当然補正予算として対応したい。

予算編成に対する住民参加については、町政懇談会や町長へのおたより、各種審議会・委員会などで出された意見を尊重し、各種施策に取り入れ、予算に反映させている。

問 現在NCTが提供しているインターネット

サービスは、10Mbpsが最大である。50Mbps程度を期待しているが、実現はいつ頃になるのか。それに伴う利用料金はいくらになるのか。

企画情報課長

平成24年度から通信速度の引き上げを検討している。最大速度は概ね30Mbps程度と考えている。利用料金については、加入者負担も考慮して検討したい。



新潟・福島豪雨災害の爪あと



インターネットの大容量通信を

**問** なぜ設計どおりの工事ができないのか

**答** 工期の遅れを防ぐため

長谷沼 清 吉 議員



ケーブルテレビ高度化事業  
第2期工事のようす

**問** ケーブルテレビ高度化事業第2期整備工事について。

(1) なぜ当初の設計どおりの工事ができないのか。

(2) 町・施工業者・設計監理業者は、それぞれどのような責任をとったのか。

**建設水道課長**

(1) 町としては、設計書どおりの施工を打診

したが、ケーブル線が現地に合わせた延長で納品されていることや再度ケーブル線を発注すると、納品まで6カ月以上の期間を要することなどの説明があり、工期の大幅な遅れが生じないこと、また設計値と同等の強度が確保できることから、手直し工事の実施を指示した。

(2) 今回の事態に対するそれぞれの責任については、3者のそれぞれが十分な確認行為を誤ったため起こったことであり、深く反省しているところである。

施工業者及び設計監理業者からは、文書で経緯

と謝罪文の提出があり、嚴重に注意を行ったところである。また、町担当職員についても町長より嚴重な注意勧告を受けたところである。

**問** 職員のレベルアップは図られているのか。

**町長**

昨年8月に、具体的な職員の行動基準策定を指示し、基準に基づき職務を遂行している。

今後も職員研修や講習会等の受講、資格の取得や意識改革により、広い視野と柔軟な発想、率先して行動に移すことのできる職員の育成を図っていく。

**問** 汚泥処理搬入の事前連絡は

**答** 県及び関係業者から連絡はなかった

猪俣 常三 議員

**問** 放射性物質を含む汚泥について、柳津町にある管理型の産業廃棄物最終処分場に入入れを要請されているとの報道がなされたが、この処分場では、施設の許容範囲での受入れを承諾した経緯があり、本町へのこの旨の事前通告はあったのか。

**町長**

本町は幸いにも原発から120km離れており、空間放射線量、土壌濃度、農地においても安全な数値を示している。下水道汚泥が5月1日まで処分場に搬入、埋め立て処分されていた。県土木部及びあいづダストセンターからは事前通告はなかった。誠に遺憾である。



空間放射線量を測定

**問** 林業を活性化させることと雇用創出を図ることが急務であり、山の手入れがなされず、間伐材が置き去りにされている。国も雇用創出として取組んでおり、山林から材が搬出されるように搬出費の一部補助を考えてはどうか。

**農林振興課長**

本年度より国においては、造林補助事業で実施する間伐材については、間伐材の有効利用を促進するため、全ての山から搬出することが要件となった。県も森林組合などを対象に、間伐材運搬搬送費に対して支援を行う方針を示した。町としては、これらを積極的に活用していきたい。





専門的な職員の雇用は

**問** 専門的知識、技術を有する職員の採用は

**答** 常時雇用するだけの業務量が無い

長谷川 義雄 議員

問 震災や原発の事態において、的確な対応ができるよう専門的な知識、技術を有する職員を採用する考えはないか。

総務課長

大規模災害や原子力発電所事故などに対応できるような専門職員の採用については、業務内容が

極めて特殊、また常時雇用するだけの業務量が無いことから困難である。

専門的な知識を要する業務については、必要に応じ専門家に指導を受けるなり、あるいは委託することにより、町民のみ皆さんの安全・安心に努める。

問 西会津高校の生徒が多数乗降しているバス停に屋根も無く、雨や雪に苦労している。付近には、スーパードコンビニもあり、町民も利用しているの、プレハブなどでも設置できないか。

企画情報課長

新交通体系について、8月上旬に地区説明会を実施し、5会場で96人のかたに出席をいただいた。

今後、商工会などと協議検討し、既存公共施設や商店の店先を利用した待合所の設置作業に間もなく着手することから、西会津高校前バス停留所についても一連の作業の中で検討していく。

**問** 西会津高校を存続させるための町の働きかけは

**答** 定数削減を県へ要望

鈴木 満子 議員



西会津高校の活性化が望まれる

問 西会津高校を本校として存続させるために、町はどんな働きかけをしてくるか。

教育長

平成22年度には、「西会津高校活性化対策協議会」を春と秋の2回開催し、委員のみなさんから意見や提言をいただきました。

がら、町内へのPRや近隣市町村教育委員会や中学校などへのPR活動を実施した。

また、西会津高校の定数削減（35人学級）を西会津高校活性化対策協議会として、県へ要望してきている。

問 西会津高校と医療系の専門学校や大学がつながれば、希望する生徒も出てきて、資格を取ることも可能と思われるが、その考えはないか。

教育長

保健、福祉関係の大学や専門学校と高校との連携が図られることは、生徒の目標実現にとって大切であるので、県教育委員会や高校に要望をしていく。併せて、西会津高校活性化対策協議会を中心に各関係団体が連携して、将来、町内の福祉施設などに就職し「健康がいちばん」のまちづくりに貢献するため、就学支援制度等のいっそうの周知を図り、生徒数の確保に結びつけていきたい。

問 エネルギー問題への取組みは

答 情勢の変化に合わせて、今後検討していく

清野 佐一 議員



町が導入予定の無煙薪ストーブ

問 このたびの原発事故に端を発した電力不足の問題で、これに呼応するように言われているのが、脱原発と再生可能エネルギーへの取組みである。

町の地形を活かした水力発電への取組みについての考えは、  
企画情報課長  
本町では、平成21年度に「西会津町地域新エネルギービジョン」を策定した。その中で、太陽光・バイオマス・雪水エネルギーが導入の有力候補と

されている。

本年度、森林環境交付金事業を活用し、無煙薪ストーブを試行設置する。その効果が実証されれば、町内全域に普及を図る。

問 町長は「若者が去る町から来る町へ」ということを言っているが、具体的にはどのような取組みをしようとするのか。また、もう進めているのか。

町長

私の町政を担う上での高い目標であり、町経済を活性化し、ハード面やソフト面について総合的に推進する。

雇用の場を作り、併せて子育て支援策や結婚活動の支援などの充実を図る。



0～1歳児の待機児童の解消を

問 0～1歳児の待機児童を解消できないか

答 計画的に無くすよう努める

多賀 剛 議員

問 保育所の2歳児以上の入所には余裕があるようだが、0～1歳児の乳幼児の入所は困難のようである。来年度からでも計画的に0～1歳児の受入れ枠を増やし、待機児童を無くすことはできないか。

健康福祉課長

本町では、0～1歳児の乳幼児保育は野沢保育所において実施している。0～1歳児の定員を増やすには、保育室の面積拡大や保育士の人員配置などのクリアすべき課題がある。したがって、個別に聞き取り調査などを行い、実態の把握に努める。

待機児童解消に向けた対策をとりたい。

問 10月に開局する院外薬局は、具体的には、利用する町民にとつてのメリットとデメリットはどんなことがあるのか。また、薬局を運営する事業者は、どのような運営形態なのか。町とはどのような契約となっているのか。

健康福祉課長

医薬分業により、患者のメリットは服薬指導が受けられ、処方内容を正確に知ることができる。また、重複投与や副作用のチェックが可能となる。デメリットは、薬剤師による調剤料や徹底した薬歴管理料などの診療報酬が加算されることにより、1割負担の患者で100円～300円程度高くなる。

調剤薬局の事業者は、那須塩原市の(有)日本メデイカルで、今後協議を重ね、町民の利便性向上のため西会津方式の医薬分業をめざし、地域医療サービスの向上に努める。

## 問 町工業団地への企業誘致策は

## 答 税制面における新たな施策を検討

伊藤 一 男 議員



企業誘致が望まれる工業団地

問 本町は現在、少子高齢化の進行に伴い、人口減少・過疎化が大きな問題である。人口減少に歯止めをかけるには、若者に町に定住してもらわなければならない。そのためは、工業団地への企業誘致を積極的に推進しては。

商工観光課長

企業誘致を一層推進するためには、各種助成金や税制面における優遇措

置などの新たな施策についても検討をしていく。

また、通信情報網の整備や磐越道インターチェンジなどの本町の持つ利便性や優位性をアピールしながら、企業誘致に努めていく。

問 本町の高齢化率は40%を超え、それに伴い要介護者も増えており、施設介護の果たす役割は大変重要である。介護施設は、にしあいづ福祉社会が管理運営しており、どの施設も満所待機者が

多い。町はこの現状をどのように考え、取組んでいくのか。

健康福祉課長

本町としては、施設介護の充実、そして待機者のかたも在宅で十分な介護が受けられるよう、在宅介護における手すりの設置やトイレの改修など介護環境の整備、デイサービスやデイケア、ショートステイなど在宅福祉サービスの強化・充実をにしあいづ福祉社会と連携しながら進めていく。

# 第7回議会臨時会報告

8月18日に、第7回議会臨時会が開会し、一般会計補正予算(第6次)の専決処分承認と一般会計補正予算(第7次)を審議しました。

## ■補正予算(第6次)

7月28日から30日にかけての新潟・福島豪雨により発生した災害に対応するため、各種の応急復旧にかかる経費として3,077万9千円が計上され、緊急かつやむを得ないときに適用される専決処分により調製され、本議会において、質疑討論は無く、議員全員が賛成し、本案を承認しました。

## ■補正予算(第7次)

同じく新潟・福島豪雨災害にかかる復旧経費の追加や補助事業採択に向けての測量設計委託料の計上、生活環境づくり支援事業費の追加など、総額4,226万7千円が計上され、審議の結果、

議員全員が賛成し、原案のとおり可決しました。

## ―質疑―

清野佐一議員  
放射性物質手数料が計上されているが、調査する箇所や回数など、調査の方法は。

農林振興課長

J A会津いで管内で、J Aと市町村が独自の自主検査をしようということ、町内では15箇所を予定している。

長谷沼清吉議員

本格的な復旧予算は9月の議会に提出されると思うが、その考えは。

今次の補正で専決処分(第6次)と合わせると、財政調整基金から7,000万円余も取り崩している。この度の災害に対し、補助や支援という面での程度見込まれるのか。また、財政的支援があった場合、できる限り財政調整基金に積み戻す考えがあるか。

総務課長

本格的な災害復旧予算は、9月議会定例会に補正予算として計上する。今回の災害については、国県から補助金が対応され、激甚災害に指定されると補助金の増高が見込まれ、特別交付税の対象となる。

特別交付税あるいは補助率の増高によって出てきた財源については、積み戻しをし、財政調整基金の留保を図っていく。

## お詫びと訂正

議会広報No.114号の13ページ、鈴木満子議員の生年月日に誤りがありました。正しくは昭和14年10月27日です。  
また同ページ、五十嵐忠比古議員の当選回数に誤りがありました。正しくは4回です。  
お詫びして訂正します。

# INSYUJINKUJI

このコーナーでは、各方面で活躍されている町民の方々をインタビューを通して紹介します。

今回は、奥川地域づくり会議景観整備部会で活動している片岡元次さん(塩)です。

— 主な活動の内容は。  
国道459号線への花の植栽、奥川地域内の名所案内板の設置などをしており、さらに国道沿いにみちくさ広場、八幡広場、幕の内飯豊眺望広場の3カ所を素晴らしい景観の広場にしたいと整備に奮闘しています。

— 苦しいこと・楽しいことは。  
苦しいことはボランティアの中で行っていますので、せめて活動資金(花の種苗代・肥料代)として援助があれば助かりませ

す。また、作業を行う際、人の確保が非常に難しく、頭の痛いところですよ。

やがて、この名所地を訪れていただいで、みんなが喜んでくれるときが、一番うれしいときと思います。

— 今後、取組みたいことは。  
仮称「奥川コミュニティ総合案内板」の設置をめざして、情報の発信をしていきたい。奥川のイベントなど盛りだくさんの情報を通行人に伝え、より多くのかたが訪れられればありがたい。



景観整備部会の方々(片岡さん：一番右)

— 町議会や町に臨むことは。  
議会だよりに取り上げてもらうことに、大変大きな意義があります。見えないところに光をあててください。

活動については、県の建設事務所のご理解とご協力が一番助かります。町も地域づくりの事業に関わりある観点から、総合案内板の設置準備に力を貸していただきたい。

— ご協力ありがとうございました。今後ご活躍を期待しています。

プロフィール  
所：塩(奥川)  
年齢：57歳  
趣味：アウトドア、花、山登り、ハイキング  
野生植物研究家、農産物研究所・研究員

## 議会の動き

### 議会基本条例制定

### 特別委員会を設置

9月議会定例会最終日の16日、議会基本条例制定特別委員会を設置しました。

議長を除く議員13名で構成し、委員長には清野佐一議員、副委員長には多賀剛議員を互選により選出しました。



町議会及び議員がその責務を果たしていくため、これまで以上に町民に開かれた議会づくりを推進し、説明責任を果たすとともに、町民のみならず積極的な参加を求めていくことが必要です。これらを実現するため、議会運営の基本的事項を定め、議会の役割と活動の指針を明確にする「西会津町議会基本条例」の策定を行うため、本特別委員会を設置しました。本特別委員会の構成は

## 編集後記

福島県による本町の早場米(早稲・モチ類)放射能検査も無事終了。そして「野沢祭り」も終わり本格的な収穫期を迎えるわけですが、今度は台風の到来です。

実はいま、台風15号のラジオに時折耳を傾けながら、「コメの放射能本調査が早く終わりますように。そして稲があまり倒伏しませんように。」と、心の中で祈りつつ筆を進めています。自然は時に、人知の及ばないような姿を現すのは、とても怖いですね。

さて、9月議会定例会が閉会しましたので報告いたします。

(三留正義)

- 編集委員 鈴木満子
- 委員長 渡部 憲
- 副委員長 三留正義
- 委員 猪俣常三
- 清野佐一

にしあいづ議会だより

No. 115

発行 福島県西会津町議会  
編集 議会広報特別委員会

〒969・4495 福島県耶麻郡西会津町野沢字下小屋上乙3261  
☎0241・45・4537  
e-mail gikai@town.nishiaizu.fukushima.jp